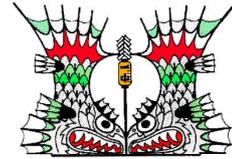




# 一中われら

第12号  
10月20日発行  
文責 校長



【校是】 **覇 気** 【学校教育目標】 未来を主体的に切り拓いていくことのできる、  
覇気ある生徒の育成

## 秋を満喫、風の松原で「なべっこ」を復活実施

10月19日、風の松原いこいの広場で「なべっこ」を実施しました。全校で行うのは平成28年以来5年ぶりで、現一中生にとって、全員、初めての「なべっこ」となりました。

「なべっこ」復活の理由は、生徒のコミュニケーション力の向上と、協働でミッションを達成する喜びを味わう体験をさせたいという願いからです。「なべっこ」を実施するためには、何をつくるか？ 材料は？ 予算内に収めるには？ 鍋やガスコンロなどの道具の分担は？ など、多くのことを班内で話し合ったり、作り方をお家の方に聞いたりするなど、直接コミュニケーションをとることが必要です。今の生徒は個人でゲームをしたり、SNS 上でつながったりする経験はありますが、目的達成のために、直に他者とコミュニケーションをとる経験は多くはないので、今回、そういう経験を、是非、経験させたいと思い復活させました。

なべっこの前に、まず、学校都市主催の「松原ウォーク・クリーンアップ」を実施。ゴミ拾いを兼ねながら、オリエンテーリングのようにクイズを解いていくゲームです。体を動かした後は、いよいよ鍋づくり。定番のきりたんぽのほか、肉鍋、キムチ鍋、カレーうどんなど多様な鍋が登場。上手に調理できた班が多かったですが、中には食材やスープ量の見積もりが違って焦った班も。でも、それらもご愛嬌。ほとんどの班は、鍋を空にしました。班によっては焼きリンゴ、チョコバナナ、梨、フルーチェなどのデザートを準備しているところも。どの班も最後まで笑いが絶えず、秋の一日を満喫しました。

生徒に感想を聞いたところ、「初めてのなので、最初はうまくできるか心配だったけど、みんなと話し合ったら上手にできた。うれしい」、「何をつくるかでいろんな意見が出たが、話し合ったら決めることができた」、「予算を考えながら買い物をするのが難しかった」、「班員でちょうど食べきれる分量にするのが難しかったが、完食できてよかった」などの声を聞くことができました。苦労したことや自分の意見が通らなかったこともあったでしょうが、それも勉強。楽しい「なべっこ」にするミッションを成功させた皆さんは立派です。



協力して調理



おいしいです